



留魂の碑：左が戦死した「常盤」「柳」の乗組員129名の名簿。真ん中に海軍戦傷病没者留魂之碑。右は大湊地区出身戦没者の供養碑



常楽寺：真言宗豊山派の寺院。当時住職だった知良上人が、身寄りのない遺骨を埋葬するため托鉢をしました。様々な人が上人の想いに共感し供養碑建立のため協力しました。



岸からは、むつ市内や横浜町が見えます。穏やかな海ですが、77年前はここも戦争の災禍に見舞われました。



少し離れたところに芦崎と大湊基地が見えます。

## 常楽寺 供養碑

むつ市大湊常楽寺には、大湊で戦死した戦没者を弔う、海軍戦傷病没者留魂之碑があります。その横には、大湊空襲で戦死した軍艦「常盤」「柳」の乗組員や大湊で戦死した乗組員の名簿があります。大湊空襲は、第二次世界大戦最後の海戦と呼ばれています。米軍の空襲に対して大湊基地に停泊していた軍艦で応戦し、「常盤」「柳」が被弾、大破し乗組員の多くが戦死しました。空襲の直前まで、「常盤」は敷設予定の機雷を積んでおり、誘爆した場合大湊の町が壊滅する危険があり、空襲直前に海中に投棄しました。そのため、町にはほとんど被害はありませんでした。

たんさく  
77年前戦争はすぐそばにあった！①

## 浮島丸出航の地

むつ市大湊中央公民館のすぐ裏には、今は防波堤と消波ブロックだけの静かな浅瀬があります。ここから終戦後、釜山へ朝鮮人を送還するため浮島丸が出航しました。しかし、急遽向かうこととなった舞鶴港へ向かう途中、舞鶴湾で沈没し549名（うち乗組員は25名）が亡くなりました。戦時中米軍が敷設した機雷に接触したと当時断定されますが、様々な説があり真相は謎のままです。



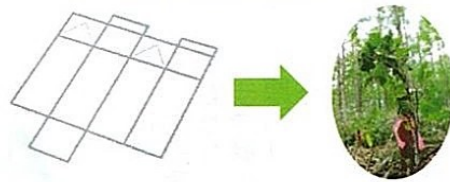
講師を務めていただいた佐藤みどりさん

## 例えば、こんな取り組み



### 植樹

宅配や店舗で回収した牛乳パックの収益金を活用し、苗木を購入して植樹する取り組みに参加しています。5月、6月に開催されている生協ふれあいの森植樹祭に参加しています。



▲写真は、浪岡物流センターから福祉施設へ提供された農産物

### フードバンク

食品の無駄をなくすとともに、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを進めることを目的に、コープ東北や青森県社会福祉協議会と連携し、「コープフードバンク」活動にとりくんでいます。



## 報告

油川中学校で、SDGsの授業を行いました。

9月7日(水)、油川中学校で、青森県内の企業・団体の職員が講師となってSDGsについて授業をする取り組みが行われ、組合員活動部の赤城運営担当が講師を務めました。授業では、「SDGsとコープあおもり」をテーマに、生協がSDGsに取り組む背景や、コープあおもりで行われているSDGsに関連した社会貢献活動(平和学習・募金、はじめてばこ、フードバンク、高齢者見守りなど)、環境活動(コープサステナブル、植樹など)について説明しました。赤城運営担当は、「SDGsはむずかしいものではありません。例えば、マイボトルを持ち歩く、植樹に参加するなど、一歩踏み出せば持続可能な未来に向けての行動になります。」と学生に向けてSDGsの取り組みは身近なことであることも授業を通して伝えていました。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 平和学習・募金

ユニセフのつどい等を開催し、世界で起きている紛争、貧困などについて学ぶ機会を設けています。また、「ハンド・イン・ハンド募金」「ハンガー・フリーワールド」に取り組み、世界の子どもの命と健康な成長を守ることや飢餓に苦しむ人々の自立支援活動に協力しています。

